

補助金まとめ 2025

国策

① 子育てグリーン住宅支援事業(国土交通省)

◎目的

- ・省エネ住宅の普及でエネルギーを節約
- ・子育てや若者世帯の住宅取得・改修の負担を軽減
- ・2050 年カーボンニュートラルを目指す

対象「ZEH 水準を大きく上回る住宅(GX 志向型住宅)」や、子育て世帯等を対象とする長期優良住宅・ZEH 水準住宅の新築と、世帯を問わず省エネ改修工事を実施するリフォーム

◎住宅の新築(注文住宅の新築・新築分譲住宅の購入・賃貸住宅の新築)

すべての世帯		子育て世帯または若者夫婦世帯	
対象	補助額	対象	補助額
① GX 志向型住宅 ・断熱等級「6 以上」 ・一次エネルギー消費量の削減率	①160 万円/戸	①長期優良住宅	
		1.建替前に居住していた住宅等を除去する場合	①-1 100 万円/戸
		2.上記以外	①-2 80 万円/戸
		②ZEH 水準住宅	
		1.建替前に居住していた住宅等を除去する場合	②-1 60 万円/戸
		2.上記以外	②-2 40 万円/戸

※子育て世帯：18 歳未満の子を有する世帯、若者夫婦世帯：夫婦のいずれかが 39 歳以下の世帯

◎住宅のリフォーム工事

注意！→必須項目の2つ以上の実施が条件となります。(下記に記載しています)

①Sタイプ 【必須工事】3種の全てを実施 ▶ 最大 60万円/戸

②Aタイプ 【必須工事】3種のうち、いずれか2種を実施 ▶ 最大 40万円/戸

※必須工事1種のみの実施では対象外

必須工事 断熱改修は ZEH 水準のみ

- ①開口部の断熱改修
- ②躯体の断熱改修
- ③エコ住宅設備の設置

附帯工事

- ④子育て対応改修
- ⑤防災性向上改修
- ⑥バリアフリー改修
- ⑦空気清浄機能・換気機能付きエアコン設置
- ⑧リフォーム瑕疵保険等への加入

※1申請あたり合計補助金が5万円未満の場合は申請できません。

詳しくは HP へ

②先進的窓リノベ 2025 事業

窓・ドアの高断熱化リフォームに特化した補助金です。

◎目的

- ・エネルギーの無駄を減らす（省エネ）
- ・電気代・ガス代を抑える
- ・快適な室内環境にする（夏涼しく・冬暖かく）

対象 一定の断熱性能を有する高断熱窓・ドアへの改修工事

◎対象工事内容

工事の種類	必要性能(熱貫流率)
ガラス交換→既存窓を利用しガラス交換	U _w 1.9 以下
外窓交換(カバー工法)→既存窓を残して 新たな窓で覆う	U _w 1.9 以下
外窓交換(はつり工法)→既存窓を取り除き 新たな窓に交換	U _w 1.9 以下
内窓設置→既存窓の内側に新たな窓を新設	U _w 1.9 以下
ドア交換(カバー工法)→既存ドア枠を残し て新たなドアで覆う	U _d 1.9 以下
ドア交換(はつり工法)→既存ドア枠を取り 除き新たなドアに 交換	U _d 1.9 以下

※ 1 申請あたり合計補助金が 5 万円未満の場合は申請できません。



最大 200 万円/戸

詳しくは HP へ

③給湯省エネ 2025 事業

家庭でのエネルギー消費量を削減するために必要な、高効率給湯器の導入に係る費用を補助します。

◎目的

- ・高効率給湯器の普及を通じて、家庭のエネルギー消費を削減し、カーボンニュートラルの実現を目指す
- ・光熱費の削減や災害時の備えとして、家庭の給湯設備の更新を支援する

対象 対象の高効率給湯器(エコキュート・ハイブリッド給湯器・エネファーム)を導入すること

◎対象工事内容

対象となる給湯設備	補助額
家庭用燃料電池(エネファーム)	16～20 万円/台
電気ヒートポンプ・ガス瞬間式併用型給湯機(ハイブリッド給湯機)	8～15 万円/台
ヒートポンプ給湯機(エコキュート)	6～13 万円/台

※補助条件 戸建住宅：いずれか 2 台まで 共同住宅等：いずれか 1 台まで

詳しくは HP へ

④賃貸集合給湯省エネ 2025 事業

既存賃貸集合住宅(賃貸住戸)に対して、小型の省エネ型給湯器の導入を支援します。

◎目的

- ・小型の省エネ型給湯器（エコジョーズ・エコフィール）の導入を促進し、家庭部門のエネルギー消費を削減すること
- ・賃貸集合住宅のオーナーの設備投資を支援し、入居者の光熱費負担を軽減すること

対象 2戸以上の賃貸集合住宅に、省エネ型給湯器（エコジョーズなど）を導入すること

◎対象工事内容

対象となる給湯設備	補助額
・追い焚き機能なし エコジョーズ/ エコフィールへの取替	5万円/台
・追い焚き機能あり エコジョーズ/ エコフィールへの取替	7万円/台

※1住戸1台まで

詳しくは HP へ